

四万十市立西土佐中学校 第1学年 道徳科学習指導案

令和4年1月28日（金）第6校時

生徒数 13名

授業者 中山 文

井上 翔太

下山 歩

1 主題名 希望と勇気をもって生きる 希望と勇気、克己と強い意志 A (4)

2 ねらいと教材

(1) ねらい

大きな困難を乗り越えて挑戦を続ける成田真由美さんの生き方について考えることを通して、希望と勇気をもって生きることの大切さに気付き、より高い目標に向かって、困難や失敗を乗り越えようと努力する道徳的实践意欲を培う。

(2) 教材名 「終わりなき挑戦—成田 真由美—」(中学生の道徳「自分を見つめる1」廣済堂あかつき)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

【希望と勇気、克己と強い意志】の内容項目は、「より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること」である。

自分自身で目標を設定し、その達成を目指すことは、日々の生活や人生を充実したものにする。しかし、目標の実現には、様々な困難を乗り越えなくてはならず、困難や失敗を経験することもある。困難や失敗があっても、それを乗り越え、最後までやり遂げようとする強い意志を養うことが大切である。どんなことがあっても絶望することなく困難や失敗を乗り越えようとする自分なりの方法について考えたり、挑戦することから逃げないで努力する姿勢を大切にしてほしいと思い、本主題を設定した。

(2) 生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

生徒は1学期に、「目標は小刻みに」を学習しており、夢や目標に向かって、前向きな気持ちで取り組み、小さな目標を立てながら、夢に一步一步近づいていこうと考えを深めた。1学期に比べ、自分の考えを発表したり、友達の意見に問い返してみたりと道徳の授業を主体的に取り組む生徒が増えてきた。道徳の意識調査でも、年度当初は「自分の考えを伝えたり、他の人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている」の項目で69.2%だったのが年度中間では、76.9%と向上しているのがわかる。ただ、生活体験が乏しく、好きなことや興味があることはやるが、苦手なことは失敗を恐れるがあまり、チャレンジできない生徒もいる。また、最後までやり遂げてきた経験が少なく、困難があっても立ち向かわず楽な方法を選ぼうとする生徒も少なくない。

新しい年、学期を迎えて、2年生に向けてやる気をもって取り組もうとしているこの時期に失敗や困難にでくわしても、挫折したり、あきらめることなく、希望を見つけ、勇気を持って乗り越えようとする強い意志を育んでいきたい。また、挑戦することから逃げないで努力しようとする意欲を培っていきたい。

(3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

「水の女王」と呼ばれる競泳の成田真由美さんの半生を教材化したものである。本年度は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、51歳の成田さんも出場した。難病によって両足の自由を奪われ絶望感を味わう成田さん。しかし、リハビリや高校受験、スポーツとの出会いを通して、自分はまだやれるんだと信じ突き進んでいく。その希望は、次々と立ち足かかる困難に向かう力となる。常に挑戦を続ける成田さんの生き方を通して、希望と勇気の大切さを見つめるとともに困難や失敗を乗り越える自分なりの方法について考える学習のきっかけとしたい。挑戦することから逃げないで努力し続けた成田さんの生き方を

特別な人という他人ごとではなく、生徒たちの身近な生活の中で考えられるよう展開を工夫し、自分事として考える時間としたい。

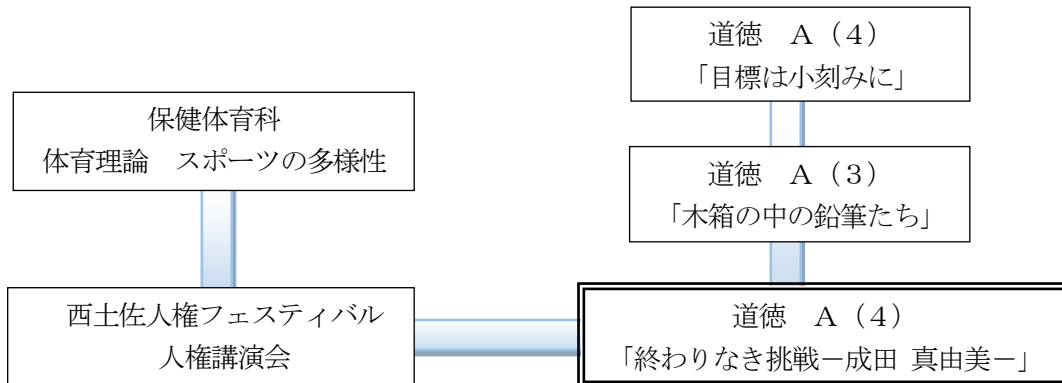
4 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応 ◎中心発問	指導上の留意点
導入	1. 本時の題材を知る	○自分達は今までどんな困難な壁がありましたか？	・朝読書で読んでおく。 P147のプロフィールを参照して、簡単に紹介する。
展開	2. 教材を読む。 (1) 両足の自由を失った成田さんの絶望を想像する。 (2) 成田さんの歩みから、強い意志の源について考える。 (3) 成田さんの生き方について考える。	○「どうして私なんか産んだの！この体を元にもどしてよ！」と叫びを止められなかったのは、どうしてだろう。 ・あまりにも辛い。 ・現実を受け入れられなかった。 ・自分の気持ちを誰かにぶつけないといえなかった。 ◎絶望して泣いていた成田さんが、「水の女王」にまで頑張れたのはどうしてだろう。 ・もともと運動が大好きだったこと。好きなことがもう一度できるようになったこと。 ・水の中で自由に動ける水泳が大好きになったこと。 ・リハビリや高校受験を通じて「やればできる」ということが分かったこと。 ・家族やリハビリの先生に支えられて、懸命に努力することができた。 ・車椅子スポーツに出会って、自分にもまだできることがあると分かった。 ・いくつもの困難を、努力で乗り越えてきたこと。 ・世界大会や世界新記録など、夢のような高い目標をもっていたこと。 ○成田さんの生き方から、あなたはどのようなことを感じましたか。 ・どれだけ辛いことがあってもあきらめてはいけないと思った。 ・誰もが能力をもっているけれど、それを発揮するためには努力がいるんだ。	教材を範読する。※CD利用 ・母のせいではないと分かっているにもかかわらずという様子から、成田さんの絶望を想像させる。 ・成田さんの困難や壁を貼りだしながら、どの壁が一番辛い、しんどいと思うだろうか、考えさせる。 ・そんな絶望から立ち直り、希望を見出した成田さんについて、 <u>何が大切だったのか、どの出来事に意味があったのか</u> を多様な視点から考えさせる。その際、 <u>成田さんがどのように変わったのかも</u> 、合わせて考えさせる。 ・話し合いを通して感じたことを交流し、希望と強い意志をもって、目標に向かって努力することについて自己との関わりで考えを深める。
終末	3. 文章化	○今日の授業を通して感じたことや考えたことを書いてみよう。	ワークシートに記入させ、価値の自覚を深める。

5 評価（評価方法）

希望と勇気をもって生きることの大切さに気付き、より高い目標に向かって、困難や失敗を乗り越えようと努力する発言や記述が見られる。（発言、ワークシート）

6 他の教育活動との関連



7 板書例

終わりなき挑戦 — 成田 真由美 —
 成田真由美さん・・・水泳、足が動かない。
 中学1年生の時、発病

○「どうして私なんか産んだの！この体を元にもどしてよ！」と叫ぶざるをえなかった時の気持ちは？

・辛い ・どうしてこんな目に合うの
 ・「どうして私なんか産んだの！」

絶望

☆中学1年5月 左膝の痛み ↓ 右膝の痛みも ↓ 高熱 ↓
 学校にほとんど行けない ↓ 強烈な痛みを伴う検査 ↓
 卒業式も病院から ↓ 高校受験できない
 ☆発病から5年 横断性脊髄炎の難病と判明 ↓ 両足が動かなくなる
 ☆23歳 交通事故 左手の握力なくなる 体温調節も×

◎成田さんが頑張ったのはどうして？
 ・リハビリ ↓ 『やればできる』
 できるが増える。前向きになる。 勇気
 ・高校受験 ↓ 努力して達成することができた。 希望
 やればできるんだ。
 ・スポーツ ↓ 自分にもできるスポーツがある。 喜び
 水泳・・・また自由に、大好きになる。
 達成感を得られる。 喜び
 目標・・・大会、パラリンピック、メダル 夢
 ・いくつもの困難を努力で乗り越えてきたこと。 ↓ 自信

『挑戦は終わらない』